

【2025 事業報告書 ⑤】

HKFA審判委員会 女子部

web研修会③

- 日 時 : 2026年3月9日(月) 20:00~21:30
- 内 容 : 全国研修報告会、事象分析
- 講 師 : 村山 尚哉 氏 (HKFA審判委員会指導者部長・サッカー1級インストラクター)
森 宏介 (HKFA審判委員会女子部)
- ス タ ッ プ : 大石かおり (HKFA審判委員会女子部)
- 参 加 者 : 土屋 花 (2級審判員)
オホーツク地区ユース審判員・苫小牧地区ユース審判員 (3級審判員)



5R ~一歩一歩着実に~

参加者のコメント

土屋 花

今回、web研修会ということでシーズンオフ期間なかなかお会いできない方々と久しぶりに画面越しではありますが元気な姿をみることができとても嬉しかったです。全国研修の報告会と事象分析の2つのコンテンツということで、楽しく参加させていただきました。

報告会については実際参加された審判員のみなさんの報告書を一緒に見ながら聞いていましたがどれも貴重な経験だったことがよくわかりました。特に1つの起こった出来事について自分自身でしっかりと分析し、次の試合に活かしていくことの大切さを改めて感じることができました。

事象分析に関しては、5つの項目に則って話し合いを進めていき答えを出していくことの難しさと瞬時に状況を把握することが大事であり、また適切な判断をする為には何が必要なのか、どのような工夫を行うべきなのかを今一度整理していきたいと思いました。

北海道ではシーズンが始まるまでまだ期間は少し空きますが、最善の準備を行い2026年シーズンもしっかりと一つの試合に向き合っていきたいです。

女子審判トレセン 小樽地区研修会

- 日 時 : 2026年3月14日(土) 9:30~14:40
- 講 師 : 渡部 学 (サッカー2級審判インストラクター・女子部)
宮武 宏行 (サッカー2級審判インストラクター・女子部)
稲葉 里美 (1級審判員)
- オブザーバー : 初山 智哉 氏 (サッカー2級審判インストラクター・育成部)
- 参 加 者 : 北照高校女子サッカー部 17名
- 日 程



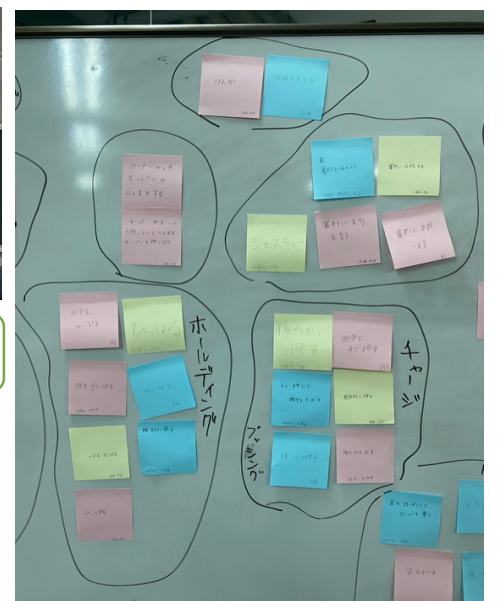
9:30	開会
9:40	講義I 1級審判員の講話
10:20	講義II オフサイド
11:15	講義III ファウル・警告・退場
12:45	副審実技
14:30	閉講式



1級審判員の稲葉さんからWEリーグなど自身の経験や道内の女子審判員について話してもらいました。



オフサイドについて、知っているようで知らなかったことも多かったようです。



自分のプレーの経験から、ファウルとなる事象を付箋に書き出しました。それらを分類して競技規則に照らし合わせてみました。



旗を上げるときの腕の角度や、腕をしっかり伸ばすことで、かっこよく見えます。



■参加者のコメント

- ・ハンドの範囲が脇の奥のラインで判断することが分かりました。
- ・どういうプレーをしたら反則になるのか、自分の知らない反則もあって勉強になりました。
- ・実技で試して頭を使うのがたのしかった。間違えても優しく教えてくれたので嬉しかったです。
- ・講師によって伝え方が様々で、スライドを使ったりワークディスクッションを使って教えたりと、違いがわかって楽しかったです。
- ・今までは分かってるつもりではいたけど、軽く見て捉えていた審判、副審も実は沢山の苦勞、努力をしていたことが改めて分かったり、プレイヤーや、観客、サッカーの試合を楽しむために沢山動いてくれていることが分かったり、実は知らなかったルールを沢山知れたりして、すごく楽しかったです！
- ・知ってるつもりだったオフサイドやファウルも実は知らないことがとても多くて、同じだと思ってたファウルも名前が違うやつだったり、知ってる条件のオフサイドも例外のパターンがあったり、知ってるようで知らないルールがありました。
- ・今日色々学んで知らないことが自分のなかでたくさん見つかって、それを知ることができて今後のプレーに役に立てたいと思いました。

■渡部学サッカー2級審判インストラクターより

今回の事業は2月8日に予定していましたが、様々な交通機関に影響が出た大雪の為に3月14日に開催が延期となりました。延期になった為、当初は参加予定でしたが参加ができなくなったチームもありましたので、次に開催される際には是非とも参加していただければ嬉しく思います。

今回は、北照高校女子サッカー部の17名の選手に参加していただき、北海道の女性審判員の活動状況や、オフサイドやファウルについての確認、副審をする時の動きの確認をしました。普段は選手ですが、審判の立場から競技規則について考えたり、整理する事で今回の研修会が少しでも今後のサッカー人生に役に立つものになれば嬉しく思います。参加している皆が、こちらの話をしっかりと聞いてくれて、真剣に取り組んでいる姿が印象に残っています。私自身も改めて高校年代の吸収の早さや、未来への可能性を感じる機会となりました。

最後になりましたが参加していただいた選手の皆さん、日程や会場の調整をしていただいた顧問の立野先生、黒瀬先生、本当にありがとうございました。また会える日を楽しみにしています。

全国大会参加報告

- 大会名 : 第8回J-VILLAGE CUP U-18 女子
- 日時 : 2026年2月6日(金)~8日(日)
- 場所 : 福島県ナショナルトレーニングセンターJヴィレッジ
- 参加者 : 鈴木 陽和・栗本 清香(3級審判員)
地域推薦2級女子審判員14名

- 日程・内容 :
1/ 27(火) 事前web研修
 - 大会要項の確認
 - 大会参加に向けてやるべきこと
 - 競技規則の精神



鈴木陽和

2/7 マイナビ仙台レディースユース vs 常盤学園高等学校 前半主審 後半A1
インストラクター：漆畑成子氏

【振り返り】

課題である笛の音色、自信を持ったレフェリングを意識して挑んだ。両チーム予期せぬボールロストが多く、予測とうまく合わずにスムーズに動けなかった。動きに緩急をつけられなかった。副審とアイコンタクトやシークレットサインを積極的に活用し、差し違いや判定ミスがなく終わることができた。

【INSからのアドバイス】

- ・顔をよく振って情報を集めている
→オフサイドの見逃しがなかった
- ・遅れた時のスプリントが良かった
→遅れても best より better な位置で見れるようにする
- ・レフェリーサイドをよく使っている
→レフェリーサイドから内側に入る動きをもっと増やすといい（特にペナルティーエリア内）

2/7 JFAアカデミー福島 vs マイナビ仙台レディースユース 前半A1

2/8 尚志高等学校 vs 鹿島学園高等学校 前半A2 後半主審
インストラクター：佐藤ゆみ氏

【振り返り】

課題の笛の音色と自信を持つことは継続しながら、新たにレフェリーサイドからペナルティーエリアに入ることも意識して挑んだ。前半から強度のある試合だったため、ファウルの基準を下げてしまわないようによりいい角度で見れるように意識した。自信をもって判定ができ、マネジメントも積極的に行えた。距離が遠いと感じる事が何度かあった。

【INSからのアドバイス】

- ・気づきがたくさんあり、自分から行動できていた
→フリーキックのクイックの保証もできていた・ペナルティーエリアへの入りが良かった
- ・ペナルティーエリアへの入りが良かった
→最終的にいい位置にいるから、そこまでの過程とタイミングを工夫するとい
- ・タッチライン付近でプレーしているときの距離が遠い
→まずは近づいて離していくとちょうどいい距離感を見つけられる
→先の予測をしすぎているため、1 つ先ぐらいにとどめてポジションをとると良い

研修を通して

この度は、第8回 J-VILLAGE CUP U-18 女子に派遣していただき、ありがとうございました。普段女性審判員だけで組めることが少ないため、すごく新鮮な気持ちでレフェリングすることができました。また、各地域の審判員の協力やインストラクターの方々のサポートのおかげで、**自分の長年の課題であった自信をもってレフェリングをするということ**を克服でき、とても実りのある研修会にすることができました。これからさらに成長できるよう、地域や北海道で努力を続けていきます。

栗本清香

2/7 JFAアカデミー福島 vs マイナビ仙台レディースユース 前半主審 後半A1 インストラクター：鮎貝志保氏

【振り返り】

経験の少ない主審で不安も多かったが、その不安が選手に伝わらないように自信を持って沢山走ることが心がけた。ファウルが起きたときにアドバンテージを適用すべきか悩んでしまい、ファウルを取るタイミングが遅くなってしまった。副審とアイコンタクトをしっかり取り、お互いがサポートし合うことができた。一方、差し違いが起きてしまった場面もあったので改善したい。

【INSからのアドバイス】

- ・ファウルの基準をしっかり持っている
- ・争点が見える位置に移動できている
→予測をして早めに見える位置に移動できるとよりよい
- ・副審とアイコンタクトをしっかり取れている
- ・副審の際のシグナルがきれい

2/7 尚志高等学校 vs 流通経済大学付属柏高等学校 後半主審 インストラクター：佐藤ゆみ氏

【振り返り】

できるだけ争点に近い位置で見ることが心掛けて臨んだ試合だった。初めて試合で歩測をしたがスムーズにでき、新しいことに挑戦できた。選手とのコミュニケーションを取れた試合だった。ボールの予測が難しく、選手のパスコースに入ってしまった場面も多かったので改善したい。

【INSからのアドバイス】

- ・争点に寄って判定しようとしていた
- ・ファウルの判定からフリーキックの再開まで正しい手順で行えた
- ・走るコースや動きはよかった
- ・予測をして緩急のある動きをつける
→攻守の切り替えのタイミングやドリブルで独走状態のときに加速できるようにする

2/8 流通経済大学付属柏高等学校 vs マイナビ仙台レディースユース 後半主審 インストラクター：江角直樹氏

【振り返り】

フィールドの状況があまり良くなかったため、準備とチェックをしっかり行って臨んだ試合だった。試合の最初の方は主審と息が合わないシーンもあったが、できるだけ主審に合わせるように心がけた。一度コーナーキックとゴールキックの判定があいまいになったときに主審としっかり確認を行うことができて良かった。タッチラインぎりぎり選手がプレーしているときに避けるのが少し遅れてしまったので予測して避ける方向を考えたい。

【INSからのアドバイス】

- ・フィールドチェックが念入りだった
- ・あきかにボールがタッチラインやゴールラインを割ったときはフラッグアップはなくてもいい
- ・シグナルがきれい

研修を通して

この度は、第8回J-VILLAGE CUP U-18女子に派遣していただき、ありがとうございました。まだまだ審判歴が短く、不安も多くありましたが、色々な地域の審判員やインストラクターの方々ののおかげで貴重な経験や学びを得ることができました。また、女性審判員との審判やサッカーが初めてだったので、**新しい挑戦ができた楽しさや、仲間ができたことによる私自身のモチベーションにつながりました**。これからも自分の理想とする信頼される審判に成長できるように、より努力していきたいです。

